

資産運用レポート：海外ファンドの投資銘柄

1 はじめに

『新ファンド・マネジャー』（後に『マネーマスターズ列伝』として再編）より引用します。

私が読者に提案したい投資テクニックの一つは、大投資家の眼鏡にかなった銘柄の中から自分に合った銘柄を選び出すというやり方である。達人投資家をフィルターとして利用するわけだ。

彼らでさえお互いのポートフォリオを常にうかがっているのだから、素人投資家がやっていけないわけがなく、大いに見習うべきである。悪びれることは一つもない。

結局、達人投資家の製品を買って分解したり、技術を盗んで模倣品を作り出すという、この投資におけるリバース・エンジニアリング、つまり逆模倣は大方の投資家にとって何よりもテクニックになるはずである。

私自身も、このリバース・エンジニアリングを大いに活用している一人です。

苦瓜達郎氏がファンドマネジャーを務めている株式投信の月報・運用報告書は必ず見るようにしています。

ジョエル・ティリングスト氏が運用しており、会社四季報の大株主欄に登場する「BBHフィデリティロープライズドストックF」も、その動向を追跡中です。

さらに日本びいきである、何本かの海外ファンドについても、定期的にはアニュアルレポートをチェックしています。

今まで、苦瓜達郎氏の投資銘柄に関しては、銘柄分析レポートで何回か紹介しました。「BBHフィデリティロープライズドストックF」の動向も、年に1～2回はスクリーニングレポートでお届けしています。

そこで今回の資産運用レポートでは、海外ファンドの投資銘柄を取り上げます。